

人権ってなんだろう

—自分らしく生きる—

親や先生、友だちの期待にこたえようとして
自分の気持ちをおしころし、
きゅうくつな思いをしながらすごしているきみへ



友だちや家族に傷つけられて
生きているのがつらいと思ったり
めんどろだと感じたりしているきみへ

社会や家庭環境によって
将来を不安に思い
夢や希望をもてずにいるきみへ



この本のページをめくってみよう。
この本には、これからの人生を楽しく
元気に生きていくための知識や情報が
たくさんつまっているよ。

いま、きみは自分らしく生きているかな？
自分の本当の気持ちをがまんしたり、
「こんなのわたしらしくない」と心のどこかで
思っおもてすごしていたりしないかな？

人はだれだって
「自分らしくしあわせいに生きる権利」を
もっているんだ。
それは、おとなも子どもも同じこと。

でも、権利ってどんなこと？
「自分らしく生きる」ってどんなことなのかな？

この本を読んでいっしょかんがに考えてみようよ。
もしかすると、自分の世界が
ちがって見えてくるかもしれないよ。



どうして男の子と女の子では あつかいがちがうの？



どうして弟は家の手伝いをしなくてもいいの？

お母さんはいつもあたしに、家の手伝いをしなさいと言う。
 弟やお兄ちゃんには言わないのに。あたしが「どうしてあたしだけなの？」と言うと、「女の子なんだから」だって。性別で決めつけるのっておかしくないの？



男の子も女の子も平等

「女の子だから家事をする」や「男の子だから仕事をする」など、性別を理由に役割を押しつけられたことはないかな？ 現在の社会では、少しずつ男女平等の考え方が広まってきている。だけど、それでもまだ、無意識のうちに、性別によって役割を決めつける考え方がされていることが多くあるよ。それって正しいことなのかな？



日本国憲法では、性別によって差別されないこと、男女は平等であることが定められているよ。家のお手伝いだって、同じこと。性別によって決めつけられて不公平だと思うときには、それを伝えてみよう。家族の中でも性別による差別をなくしていき、男女関係なくひとりひとりが助け合えるようになることが大切だよ。

日本国憲法

第14条 法の下に平等

すべての国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分または門地により、政治的、経済的または社会的関係において、差別されない。

考えてみよう！

- 性別によって役割をおしつけられていやな思いをしたことはある？
- 無意識のうちに、性別でなにかを決めてしまったりしたことがないかな？

自分らしい好きな服が着たい！

わたしはかわいいものよりもかっこいいものが好き！
 なのに、お母さんやおばあちゃんはいつも「女の子らしくしなさい」と言うし、服もかわいいものを見せようとする。自分が好きなものを着ちゃいけないの？



自分らしさを大切に

「女の子らしく」や「男の子らしく」ってよく聞く言葉だけど、そもそもそれってだれが決めたことなのかな？ かならず守らないといけないこと？ 女の子が女の子らしくないことや男の子が男の子らしくないことはいけないことなのかな？



自分とまわりの人をくらべてみると、似ているところもあるし、ちがうところもある。全部が同じだという人はきつくないよね。人はみんな、顔や体、好きなものやきれいなもの、考えていることもそれぞれちがう。ちがっていて当たり前。「〇〇らしさ」と人から決められたことじゃなくて、「自分らしさ」というものを大切にしていっていいし、自分らしさが守られる権利をもっているんだよ。

考えてみよう！

- 「女の子は女の子らしく」「男の子は男の子らしく」いることが当たり前なのかな？
- 着るものや持ちものを自分で選べないとどんな気持ちになる？ だれかに決めてもらう方がいいの？

キーワード

ジェンダー

社会的、文化的につくられる性別のこと。たとえば、「男の子は青、女の子はピンク」と決めつけること。